

講義科目 : 医療・健康・福祉実践	単位数 : 2
担当 : 藤枝 律子	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

- ・この講義科目は、コンソーシアムみえに参加する三重県内の高等教育機関の単位互換科目です。三重大学が実施する事前・事後学習及び現地学習に他大学生とともに参加することになります。
- ・授業の概要：三重県の重点課題である医療・健康・福祉に対して、主に僻地（離島）医療の観点から現地でのフィールドワークを交えた体験型学修を行なう。局地的に過疎高齢化が進む離島地域において、予防的アプローチでの健康長寿、在宅型の地域包括ケアを中心とした福祉、急性期から慢性期に対応する医療といった各領域の横断的取組みについて理解を深める。医療のみならず、地域事業としての福祉、健康を目的とした各種取組みを知ることにより、自治体や地域団体の役割を考察し提案していく機会を設ける。
- ・学習の目的：高齢化社会において医療費・社会保障費の増大は国家財政や自治体業務の大きな割合を占める。とくに離島のような過疎地域は課題先進地域と言われ、予防医療や地域包括ケアシステムといった取組みが始まっている。他方で健康長寿に対する欲求は人類の普遍的なコンテンツとして、健康食や身体づくりを交えたヘルスツーリズムのような観光と結び付いた地域資源の発掘や、QOLの向上を目指した地域づくりなど、その応用範囲は多岐に渡る。
- ・到達目標：三重県における社会的事象（僻地医療、地域包括ケア等）を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究する。本科目の特徴は合宿型であり、3～4人のグループワークを通して地域課題（「医療・健康・福祉」）を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元することができる。地域住民や社会人といった異なる立場の人たちにインタビューし、その内容に対してグループ討議を経てそれぞれの専門性に則った意見を述べることで主体性を発揮できる。

授業計画

○現地学習（2泊3日）8月中旬

- 1日目：現地見学 13:00志摩市民病院集合 13:00-17:00志摩市民病院見学 18:00-19:00夕食 19:00-22:00講義「志摩における地域医療の課題と展望」（志摩市民病院院長 江角悠太） 22:00志摩市民病院宿舎にて就寝
- 2日目：離島フィールドワーク 9:00移動（宿泊場所⇒間崎島） 10:00-12:00フィールドワーク（地域住民インタビュー） 12:00-13:00昼食（弁当） 13:00-17:00フィールドワーク（地域住民インタビュー） 17:00-20:00移動（間崎島⇒三重大学）

《注意》：現時点での学習内容となり、実際の授業実施に際しては変更の可能性もある。

事前事後の学修もあり、それぞれ120分。

教材・テキスト・参考文献等

必要に応じて紹介する。

成績評価方法

事前学習や現地学習への積極的な参加40%、成果発表30%、レポート30%

受講要件

学生教育研究賠償責任保険(学研災・学研賠)への加入が条件